

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成30年4月19日(2018.4.19)

【公開番号】特開2016-167140(P2016-167140A)

【公開日】平成28年9月15日(2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報2016-055

【出願番号】特願2015-46157(P2015-46157)

【国際特許分類】

G 06 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 06 F	3/12	3 5 5
G 06 F	3/12	3 0 5
G 06 F	3/12	3 5 4
G 06 F	3/12	3 5 6
G 06 F	3/12	3 5 7

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月5日(2018.3.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

印刷設定画面を介して入力された設定値が他の設定値との組み合わせで設定できるか否かを判定する第1の判定手段と、

前記第1の判定手段により前記入力された設定値が前記他の設定値と組み合わせて設定できないと判定された場合には、対象カテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値と組み合わせて設定可能な設定値があるか否かを判定する第2の判定手段と、

前記第1の判定手段による判定の結果と前記第2の判定手段による判定の結果とに基づいて、前記入力された設定値を、前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値に変更する変更手段と、

を有し、

前記第2の判定手段は、前記入力された設定値と同じ第1のカテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか判定し、前記第1のカテゴリで、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値が存在しないと判定した場合に、前記入力された設定値と異なる第2のカテゴリの設定値で、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか否かを判定することを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

印刷機能に関する複数の設定値の各々を複数のカテゴリに分類する分類手段を更に有し、

前記前記第2の判定手段は、前記第1の判定手段により前記入力された設定値が前記他の設定値と組み合わせて設定できないと判定された場合には、前記分類手段により前記複数のカテゴリに分類された前記複数の設定値の中に、前記対象カテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値と組み合わせて設定可能な設定値があるか否かを判定することを特徴とする請求項1記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記分類手段は、前記複数の設定値の各々を前記複数のカテゴリに分類し、更に、前記複数の設定値の中で分類できなかった設定値を最も低い優先順位が指定されたカテゴリに分類することを特徴とする請求項2記載の情報処理装置。

【請求項4】

前記分類手段は、前記複数の設定値それぞれを定義する定義ファイルのカテゴリ設定項目に基づいて、前記複数の設定値を前記複数のカテゴリに分類することを特徴とする請求項2又は3記載の情報処理装置。

【請求項5】

前記第1の判定手段は、禁止されている設定値の組み合わせを示す禁則情報に基づいて、前記入力された設定値が前記他の設定値との組み合わせで設定できるか否かを判定し、

前記第2の判定手段は、前記第1の判定手段により前記入力された設定値が前記他の設定値と組み合わせて設定できないと判定された場合には、前記禁則情報に基づいて、前記対象カテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値と組み合わせて設定可能な設定値があるか否かを判定することを特徴とする請求項1乃至4何れか1項記載の情報処理装置。

【請求項6】

前記第2のカテゴリは、前記第1のカテゴリよりも対応する優先順位が低いカテゴリであることを特徴とする請求項1乃至5何れか1項記載の情報処理装置。

【請求項7】

前記印刷設定画面を表示部に表示する表示手段を更に有し、

前記表示手段は、前記変更手段により変更された前記入力された設定値を前記印刷設定画面の内部に表示することを特徴とする請求項1乃至6何れか1項記載の情報処理装置。

【請求項8】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

印刷設定画面を介して入力された設定値が他の設定値との組み合わせで設定できるか否かを判定する第1の判定ステップと、

前記第1の判定ステップで前記入力された設定値が前記他の設定値と組み合わせて設定できないと判定された場合には、対象カテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値と組み合わせて設定可能な設定値があるか否かを判定する第2の判定ステップと、

前記第1の判定ステップでの判定の結果と前記第2の判定ステップでの判定の結果に基づいて、前記入力された設定値を、前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値に変更する変更ステップと、  
を有し、

前記第2の判定ステップでは、前記入力された設定値と同じ第1のカテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか判定し、前記第1のカテゴリで、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値が存在しないと判定した場合に、前記入力された設定値と異なる第2のカテゴリの設定値で、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか否かを判定することを特徴とする情報処理方法。

【請求項9】

コンピュータを、請求項1乃至7何れか1項記載の情報処理装置の各手段として、機能させるためのプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

そこで、本発明の情報処理装置は、印刷設定画面を介して入力された設定値が他の設定値との組み合わせで設定できるか否かを判定する第1の判定手段と、前記第1の判定手段により前記入力された設定値が前記他の設定値と組み合わせて設定できないと判定された

場合には、対象カテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値と組み合わせて設定可能な設定値があるか否かを判定する第2の判定手段と、前記第1の判定手段による判定の結果と前記第2の判定手段による判定の結果とに基づいて、前記入力された設定値を、前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値に変更する変更手段と、を有し、前記第2の判定手段は、前記入力された設定値と同じ第1のカテゴリの設定値であり、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか判定し、前記第1のカテゴリで、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる前記設定値が存在しないと判定した場合に、前記入力された設定値と異なる第2のカテゴリの設定値で、かつ前記他の設定値との組み合わせでも設定できる設定値が存在するか否かを判定することを特徴とする。